

組織目標評価報告書（平成21年度）

部局名： 評価センター

	組織目標	達成状況(成果)
教育	該当なし	
		達成度: 4 3 2 1
研究	該当なし	
		達成度: 4 3 2 1
センター業務	(1)「教員活動評価」を円滑に実施する。引き続き、データ入力・調査表作成関係の簡素化、実施結果の検証による必要な改善等について検討する。 (2)「部局組織目標評価」の円滑な実施及び法人評価で作成された現況調査表を利用した「部局現況分析評価」の自己点検・評価を試行し、実施結果の検証による必要な改善等について検討する。 (3) 各種評価業務を通じて得られた成果・情報をもとに、大学運営等への提案や協働に努めるとともに、第三者評価の結果にもとづく各提言に係る進捗状況を検証し、改善を促す。	(1)「教員活動評価」について、システムへのデータ自動入力項目の増、外部からのデータ取り込み機能の開発、調査表作成の半自動化などを実施し、教員の負担軽減を図るとともに、部局長等から制度に関する意見を徴取し活動評価PT、運営委員会において必要な改善策を策定した。改善策については部局連絡会をつづいて各部局等へ周知することとした。 (2)「部局組織目標評価」を着実に実施するとともに、「部局現況分析評価」の試行を実施して、その結果を運営委員会において報告・検証を行うとともに、HPにおいて公表することにより改善を促すことを決定した。 (3) 認証評価や各年度の業務実績評価の評価結果に基づく評価センターからの提言に対して、各部局等の対応状況の報告を求め、その結果をとりまとめて検証を行い、順調な進捗状況であることを確認した。
		達成度: 4 3 2 1
社会貢献	該当なし	
		達成度: 4 3 2 1

【自己評価総括記述欄】※目標及び指標の達成状況について総括し、次年度に向けた改善点等を記載してください。

平成22年度は、第1期中期目標期間の確定評価が実施されるため、それに重きを置いて提出書類等の作成にあたる。教員活動評価については、新システムが本格稼働するため、操作方法等について教員への情報提供を細かく行うことにより、適切に運用できるよう準備する。
また、第1期中期目標期間の評価結果を総括・検証することにより、一層の改善を促していく。

【達成度】 4:非常に優れている 3:良好である 2:概ね良好であるが改善の余地あり 1:不十分であり改善を要する

注)本様式は一般的な学部・研究科用であり、部局の特性に合わせて設定した領域・指標により修正してください。

[組織目標一覧へ](#)